

『食べ物とごみのさかい目はどこ？～食品ごみをなくそう大作戦！～』

実施レポート

この講座では、クイズやゲームなどを通して楽しみながら食品ロスについて学ぶことができます。さらに、クラスで実際に残った給食の量を知ってもらうことで、食品ロス問題を自分事としてとらえ、児童たちの行動変容を促します。

2025年6月13日に春日井市立東高森台小学校の4年生の皆さんが受講したときの様子を紹介します。児童やあいち eco ティーチャーから、こんな感想や宣言が寄せられました！



食品ロスのクイズに挑戦

一日お茶わんーぱい分の食品ロスがあることにおどろいた（児童）。

食品ロスの多さを知った。（児童）

給食で自分が食べられる量だけとる。（児童）

残さず食べる。大切に給食を食べる。（児童）



残した給食の写真を見てびっくり



さかいめゲームに挑戦

消費期限と賞味期限のちがいを知った。（児童）

いつも食べていないところも食べられるということがわかった。（児童）

- ・食べ残しをしない。
 - ・消費期限が短い商品は、すぐに食べる。
 - ・家の人の作ったご飯をしっかり食べる。
- （児童たちの宣言の一部）

給食で残りやすい野菜を食べて、食べ残しを減らすことに意欲的で嬉しかったです。

（あいち eco ティーチャー）



エコアクション宣言！

児童も先生も発表